

**「保健医療科学」
第72巻 第2号 予告**

特集：with コロナ時代の持続可能なエイズ対策—新規感染ゼロへの挑戦—（仮題）

新型コロナウイルス感染症下におけるHIVの発生動向と検査体制（仮題）	松岡沙織, 田沼順子
日本におけるHIV診療の現状と課題（仮題）	渡邊大
HIV感染症の医療体制整備について—with コロナ時代における課題—（仮題）	横幕能行
withコロナでのMSMへの有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入について（仮題）	塩野徳史
多様性社会における若年者へのHIV予防教育（仮題）	星野慎二
エイズ対策に携わる人材の育成—持続可能な体制の整備—（仮題）	児玉知子, 他

編 集 後 記

「保健医療科学」では、第68巻より、第1号において、日本の公衆衛生分野の最新のトピックと国立保健医療科学院のそれらへの貢献を国際発信することを目的とした全文英文による特集を発行しており、本号はその5回目である。これまで、保健所、母子、栄養、たばこ、歯科、健康日本21、ソーシャル・キャピタル、難病、患者安全、介護、リハビリテーション、建築物衛生、水道水質管理、危機管理、医療情報、医療経済評価、SDGsなどのトピックを「幅広く」紹介する「総論」的な内容であった。

それに対して本号では、保健医療分野におけるAIの開発と実装、関連法規の改正や子ども家庭庁の創設等の母子保健の最新の動向、終末期の自発的飲食中止の倫理的法的課題、専用水道の水質事故、地域医療構想、たばこ製品が購入可能で喫煙できる最低年齢の影響、といった「各論」的なトピックを「深掘り」した内容である。

国立保健医療科学院は「広い」だけでなく「深い」ことがおわかりいただけたであろうか。これからも「広さ」と「深さ」をさらに拡大していく（どちらも2倍になれば4倍になる）ので、英文特集号は無限に発刊されていくだろう。

（政策技術評価研究部 武村真治）